

# 萩原朔太郎生誕祭マンドリン演奏会

出演：前橋マンドリン楽団

解説：高橋弘志

## プログラム

### 1 義勇兵の出征

大正6年1月8日第一回ゴンドラ洋楽会冒頭の一曲。大正9年9月19日第一回アマチュア音楽会でも演奏。

### 2 安南王の行列

ゴンドラ洋楽会結成前、大沼竹太郎と頻繁に行き来をしていたころ演奏していた曲。大正11年2月19～21日共愛女学校母校基金募集活動写真大会で伴奏音楽として演奏。

### 3 数へ唄

大正6年7月に開催されたと思われる第4回ゴンドラマンドリン倶楽部合奏試演会で演奏。

### 4 波路を越えて

大正6年7月の第4回試演会で演奏。大正11年5月27日高崎公会堂で演奏。他に「波ワルツ」という題名でも何回か演奏。

### 5 米国民謡集

演奏記録は見当たらないが、パート譜の多さからこの曲も演奏された可能性が高い。

### 6 双頭の鷺の旗の下に

大正13年4月20日桐生市桐座において東毛仏教青年会主催の音楽会で演奏。大正14年1月25日金山時報社主催の音楽会で演奏。昭和9年5月25日NHK前橋放送局聴取者二万人記念舞踊音楽会で演奏。

### 7 野火

室生犀星作詞、萩原朔太郎作曲。当時新婚だった稲子夫人も一緒に歌った覚えがあることから大正8年には作曲されたと思われる。

### 8 トセルリのセレナーデ

萩原葉子著「父萩原朔太郎」に二人で合奏をした思い出が書かれている。

### ☆ 丘を越えて

昭和2年古賀政男作曲。すでに朔太郎は上京していたが、マンドリン合奏用に楽譜を作成していた。